

# きたかみ未来創造会議

## 創造NEWS 2014 第3号

2014.9.3  
第3回会議  
基本計画を  
評価する②  
の巻

平成26年度第3回目のきたかみ未来創造会議が9月3日に市民交流プラザにて行われました。

### <当日の流れ>

まずは北上市政策企画課より開会の挨拶がありました。それから、配布資料「指標一覧」の実測値や目標値等に誤りがあったため、修正版の資料をお配りしたという旨、お詫びがありました。本当に申し訳ございませんでした。

グループワークでは、6分野に分かれて90分のワークショップを行いました。

#### ①総合計画を評価する

前回の続きで、ワークシートを見ながら、それぞれの施策ごとの進捗状況を評価します。「青→順調 緑→おおむね順調 黄→やや遅れている 赤→遅れている」のいずれかを選び、それに対応した色の付箋にその理由を記入し、1人1枚ずつ貼っていきます。

前回同様、指標の詳しい内容や数値などについては、サポーターさんに説明を受けながら、評価することができました。

全員が付箋を貼ったら、グループ内で意見をまとめ、グループとしての施策の評価を決めました。

#### ②評価を行うために必要な指標を選択する

各施策にある指標のうち、中間目標と見比べて最も評価に適した指標を選択し、1人1枚ずつ水色のシールを貼っていきましました。

全員がシールを貼り終えたら、グループ内で意見をまとめ、その施策で最も大切な指標を選択しました。

どうしても適した指標がないときは、オレンジの付箋にその理由や思いを記入し、貼っていきましました。

各グループ、活発な意見交換がされ、施策の評価を終えることができました。ありがとうございました！

皆さま、大変おつかれさまでした。

次回もよろしくお願いいたします。

### <次回の会議について>

9月17日(水) 18:30~20:50

会場：市民交流プラザ

今回は、基本施策の指標の重みづけと改善案検討、重点化施策の検討を行います。

※担当する分野の総合計画と現状の資料を事前に目を通していただくと当日、議論が行いやすくなります。可能な範囲で結構ですので、事前のご準備をよろしくお願いいたします。



開会の挨拶



自己紹介タイム



グループでの検討



施策の評価

## <皆さんのふりかえりシート>

- ・前回ポストイットによる意見と評価の書き出しの要領が判っていたので、残りの部分についての意見と評価は出しやすかった。
- ・皆だいたい慣れてきた感じ。発言、質問もよく出て進捗もいいスピードであった。
- ・皆さんが、施策に対して一歩踏み込んだ意見を出す良い雰囲気になってきた。
- ・前回より発言できたので、やっと参加できた感じがします。会場設営、飲み物の準備等、スタッフの皆様いつもありがとうございます。
- ・お疲れ様でした。今日もありがとうございます。前回も思ったのですが、割りばしの役割決め。向き不向きもあると思うので、ファシリテーターの方はうまく“ゆうどう”していただきたいと思います。ふりかえりカードも、簡単に良い、悪いとか選択制にしたり、アンケートにしたらいかがですか？書いた文をそのままのせるのも、どうかと思います。
- ・「評価」の作業が本当の意味で有効であるためには、さまざまな工夫が必要であると感じた。システムティックになり過ぎると現実とは正反対の評価を出してしまいかねない。大事な問題が置き去りにされないように配慮することが大切だと思います。
- ・今の指標はかなり苦しくなっていると思った。ある施策の目標の進捗度がそのものズバリで表わされる「数値」指標を創る必要がある。
- ・昨年度と最終評価が大きく変わり、良い方向に向かっていると感じます。
- ・指標の妥当性に疑問があるまま施策評価を進めていくのは大変であった。指標の改訂が必要な場合も多いので、施策評価の前に指標の妥当性を行った方が有意義だと思う。目標達成度の評価で数値による判断が適さない場合が多々あると感じた。
- ・これまで経験したことでこうも人は見方が変わるんだなと感じた。ただ、何であれ、特に雇用環境については、くらしに直結するし、困った人の意見をもっと多く見る必要があると痛感した。
- ・地域を振り返って考えてみることでできた。大変良かったです。
- ・数値だけでなく更にレベルアップしてほしい方向に全体シフトアップしており、傾向としては良い方向と思う。(辛口評価)全体としては熱意の表れか!!指標の見直しは是非行ってほしい。(間違った評価になりがち!!)
- ・皆さんと話し合うことによって、自分が思ってもみなかった意見を聞くことができた。
- ・評価について話し合う中では、当然に指標の妥当性についても考えることになる。そのため、より主体的に参加できる仕組みになっていて面白かった。
- ・活発な意見があり、楽しかった。
- ・市の施策について、理解が深まりました。指標のあり方と目標値の設定は難しいと思いました。
- ・はじめて参加し、色々勉強になった。
- ・情報→行政手続きのオンラインだけでなく→北上市の収益につなげる情報を外部へ発信する→市が儲ける施策
- ・今後の全体の流れを知りたい。軽食はうれしい。
- ・評価に関連する議論が楽しめました。
- ・今年度で初参加。なかなか流れについていくのが大変だったが、皆さんのサポートのおかげで順調に進められて良かった。
- ・前回よりもスムーズに話し合い(検討)が進んだと思います。思っていたよりも、順調に進んでいないことがわかりました。これからあと3回の会議がとても重要になってくると思うので、しっかり検討していきたいと思います。
- ・評価指標の評価は中々難しいですね。これの繰り返しをする中でこなれてくることを期待しています。前回と大きく間が空かなかったのは良い点です。
- ・学校 PTA や地区子供会等青少年育成活動がややおかれていると思われます。他市町村に存在する育成団体を参考に北上方式のようなものが考えられないものか？
- ・たくさんの方の意見を聞くことは勉強になります。指標と目標が繋がっていないところがあったように思えますが…。
- ・異質の指標を1つの中間目標のくくりで評価することに悩む。
- ・評価を検討する中で数値には多面的な意味が含まれていることに気付いた。単純に増減の良し悪しだけでない、数値がもつ背景が話し合いの中ででてきた点はおもしろかった。
- ・サポーターの人たちがいてくれるので知識が増えました。知らなかった事がわかるのは楽しいですね。
- ・いい指標がなくてがっかりしました。でも、いい指標は作るのも大変なのだと思います。どこまで市民がボランティアとして関わられるのか、という線引きが難しい気がしました。
- ・数値だけで評価するのは難しい。内容の分かる資料等があれば論点が深まると思う。
- ・中間目標と指標名が合わないのがあった。
- ・活発に主体的に皆さん参加していた。違う指標がいいけど、何がよいか今は思いつかないという想いを形にする方法を工夫できないか？総合計画自体をよく見ながら話し合いしないと方向がずれてしまう気がした。模造紙だけ見ては？
- ・評価指標設定の難しさを痛感しました。楽しいメンバーの皆さんから、また色々な視点を学びました。
- ・4回が終了し、5回まで5カ月もあります。今回新しいメンバーも入っており、交流の場を開催してほしい。サポーターの助言は良かった。